

岡山大学オリエンテーリングクラブ支援に関するガイドライン

このガイドラインは、岡山県オリエンテーリング協会規約および運用細則に準拠し、岡山大学オリエンテーリングクラブを対象にした支援の内容、および適用等について示したものである。

1. 趣旨

県協会としてのスタンスは、若い学生諸君がオリエンテーリングに親しむことによって、県内でのオリエンテーリングが活性化されることを期待して、県協会が学外指導者にもなっている岡大 OLC に対し、その活動を人的、技術的、物質的面全般において可能な限り支援しようということである。

2. 内容

賛助会員（団体）に準じた扱いとし、具体的には以下の内容が主体となる。

希望する場合は、岡大 OLC 所属であることの明示と、適宜その理由を添えて申し込むこと。

- ① 県協会主催（主管）大会前日準備と当日運営者の試走練習会への無料参加と運営経費の支給
- ② 県協会主催（主管）大会当日のみ運営者の大会への無料参加（運営経費は不支給）
- ③ 県協会事務局からの情報提供
- ④ 県協会所有備品の貸し出し（ハード、ソフトとも）
- ⑤ 県協会会員対象の研修会、練習会等への参加
- ⑥ 県協会総会へのオブザーバ参加

3 . 前提条件

オリエンテーリング競技は基本的に全て他人の土地を使わせてもらって成り立っている。

したがって、大会は当然として練習会、地図調査等においても土地所有者の許可を得ることが大原則で、これは公共の公園、道路使用などにおいても同様である。

これらの社会的規範を十分認識した責任ある活動であること。

4. 所有備品貸し出しの原則

- ・貸し出しは原則無料とするが、善良なる管理で避けられない場合を除く過失によって損傷を与えた場合はその額を補償すること。
- ・地図データ、各種資料等の電子データは複製、第3者への貸し出し、ならびに2次加工はしないこと。真にやむを得ず実施したい場合は、事前にその旨届け出て承諾を得ること。
また事後は確実に削除し、必要時は都度承諾を得て貸し出しを受けること。
- ・本対象は、岡大 OLC の単独実施行事を基本とし、特別な事情で他大学等と合同実施する場合は最小限の枠内であること。その枠を超えて学生、一般などに範囲を広げて実施する場合は、県協会が定める有償とする。
- ・消耗品類は原則実費を支払うものとする。
- ・本項の原則はイベント等の運用についても準用し、疑義が生じた場合は理事長が適切に判断する。

5. 参考

5.1. 県協会が所有する0マップのトレイン情報

トレイン	利用の制約	留意事項
名勝白石島	海洋センターへの利用願いはすること	危険な崖
吉備高原鳴滝湖	国少利用の申請をすれば国少管理地は問題ないが、東部の元21世紀の森は県の許可が必要	猪捕獲罠、マムシ、積雪
岡山県健康の森	管理センター利用の申請をすれば大半のエリアは問題ないが、南西部の健康の森学園、東部の民有地は届け出が必要	熊、猪、マムシ、積雪
瑜伽大権現	少年自然の家の利用申請をしても、蓮台寺、由加神社、民有地の届け出が必要	猪捕獲罠、猪、猿、スズメバチ
操山公園	管理センターに利用申請しても、寺、民有地などの立ち入り禁止地域が多く立ち入りは不可	猪、マムシ
水島緑地福田公園	市および管理事務所の利用申請と届け出が必要。競技場は有料	季節によっては駐車場が満杯になる
吉備中央公園	吉備プラザ、県、町の利用申請と民有地の届け出が必要	マムシ、積雪

※1. OMAPの提供を受けることはその著作権保有者が使用を認めたということであるが、そのトレインの使用も認めたということではない。

※2. 利用の制約をすべてクリアし、留意事項に十分配慮した利用でなく、利用の制約手続きをすべてもしくは一部省略する場合は、社会通念上個人の活動とみなされる規模等の内容であること。

これらを疎かにして実施しトラブルが発生すると関係者に多大な迷惑がかかり、2度と利用できなくなることにもなる。

5.2. 留意事項

- ・練習会等の野外行事実施については、安全に何よりも配慮し、天候、有害動植物などを十分考慮した内容であること。(天候は1日で急変する。雪が降れば道中も危ない)

過去に学生が低体温症でフラフラの状態に救助されたこと、打撲で一時的な記憶喪失に陥ったことなどの事例がある。

平成29年7月

岡山県オリエンテーリング協会